

第 20 回 共同実施事業管理委員会 東京都作業部会
議事要旨

日時：平成 30 年 12 月 12 日（水）16:00～17:00

会場：東京都庁第一本庁舎 33 階南側 E 会議室

1 開会

2 議事

(1) 定額未満案件について

<説明・確認>

- ・資料 1 について組織委員会から説明。

<質疑、意見など>

特になし

(2) 平成 30 年度第 2 四半期の実績報告について

(3) 平成 30 年度共同実施事業の変更交付申請について

<説明・確認>

- ・資料 2、資料 3 について組織委員会から説明。

<質疑、意見など>

- ・今回契約時期が後ろ倒しになり、来年度に執行が見込まれる分については、一度減額補正した上で新年度に計上する予定。

(4) DIVA ネットワークサービスの調達について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の 4 点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・このような方法は今大会から導入するのか。
⇒過去大会では、ギャップケーブルとインターカムケーブルは別々に発注し、各々でケーブルリングをしていたので工期が 2 倍、大会時の要員も 2 倍必要だった。IOC としても統合した方がよいということで、今回実現可能性評価を実施した。
- ・東京 2020 大会の後の大会でもこの方式を使うのか。
⇒2022 年の北京大会でも同じ方法を継承すると聞いている。
- ・会場ごとにカスタマイズするのか、それとも一つの型を作れば対応で

きるのか。

⇒基本的には一つの型を作り各会場に適用するが、会場ごとに必要に応じて部品を加えたり外したりする。

- ・工程をみると、契約してからテストイベントまでにあまり時間がないが、この期間で可能なのか。

⇒I0Cの実現可能性評価の中で、基本設計、基本パーツの組合せの設計は既に行っている。あとは、事業者が持っている機器をアレンジして設計しなおす作業になるので、実施設計にそれほど多くの時間はかからない。

- ・テストイベントでは、試行しながら修正していくということか。

⇒技術と運用の検証をしたい。全パートナーが揃うことは少ないので、1、2回程度検証する。

3 意見交換 特になし

4 閉会